



平成30年5月15日

各 位

会 社 名 鹿 島 建 設 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 押 味 至 一
(コード番号 1812 東証・名証各第一部)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 勝 見 剛
(TEL. 03-5544-1111 (代表))

鹿島グループ中期経営計画（2018～2020）の策定について

当社は、本日開催された取締役会において、「鹿島グループ中期経営計画（2018～2020）」を決議しましたので、お知らせいたします。

今回策定の「鹿島グループ中期経営計画」では、今後の経営環境の変化とESGの観点を踏まえた中長期的な展望に基づき、2021年度以降の持続可能な成長の実現に向け、①次世代建設生産システムの構築 ②社会・顧客にとって価値ある建設・サービスの提供 ③成長に向けたグループ経営基盤の確立 を基本方針としました。

基本方針に基づき、国内建設事業における施工集中等の短期的な課題に対応して安定的な業績を確保しつつ、中長期的には国内外の不透明な経営環境に備えて、更なる生産性向上、多様な収益源確保、経営基盤強化を図るとともに、これらに資する施策及び投資を積極的に実施いたします。

計画最終年度の2020年度目標を連結売上高2兆1,500億円程度、連結当期純利益800億円以上、ROE10.0%以上とし、施策及び投資の成果等により、中長期的に連結当期純利益1,000億円以上を目指します。

本計画の目標達成に向けてグループの総力を挙げて努力してまいりますので、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

鹿島グループ中期経営計画（2018～2020）

I. 基本方針

1. 次世代建設生産システムの構築

国内建設事業の生産現場を「技術」とそれを支える「人」の両面から持続可能なシステムに改革し、次世代の生産現場を構築する。

2. 社会・顧客にとって価値ある建設・サービスの提供

中長期的な経営環境の変化を見据え、社会課題や顧客要求に対する能動的な対応力を強化し、効果的な建設とサービスを追求する。

3. 成長に向けたグループ経営基盤の確立

単体建設業中心の組織・管理体制をグループ経営に適した体制に整備する。

II. 事業戦略・経営基盤

基本方針に基づき、戦略的なR&Dを核に高い競争力を有する生産方法の確立を目指すとともに、生産現場を中心に据えた働き方改革を推進し、当社社員のみならず技能労働者に対する働きがいのある労働環境を整備する。また、高度化・多様化する社会・顧客ニーズに応じて事業領域の拡大を図り、収益源の多様化を目指す。これらの実現に向けた施策・投資を積極的に実施するとともに、事業推進体制等のグループ経営を支える基盤を整備する。

（事業戦略）

1. 生産性向上と魅力ある労働環境の整備
2. 有望市場・分野への取り組み強化
3. 上流・下流事業の取り組み推進と収益源の多様化
4. 開発事業の収益力強化
5. 社会課題への取り組み強化

（経営基盤）

1. R&Dの戦略的推進
2. グループ経営に対応する経営基盤整備

Ⅲ. 業績目標

連結	2020 年度	中長期
売上高	21,500 億円	25,000 億円程度
当期純利益	800 億円以上	1,000 億円以上
有利子負債	4,000 億円以下	—
ROE	10.0 % 以上	—

Ⅳ. 投資計画（2018～2020 年度の 3 年間合計）

	投資	ネット投資
国内開発事業	1,600 億円	2,250 億円
海外開発事業	2,400 億円	
研究・開発	500 億円	
M&A・人材開発・その他	500 億円	
合 計	5,000 億円	

Ⅴ. 株主還元方針

連結自己資本を確保しつつ、配当性向 20～30%の範囲を目安に安定的な配当に努める。

鹿島グループ中期経営計画（2018～2020）の詳細は当社ウェブサイトに掲載しております。

URL	https://www.kajima.co.jp/ir/newplan/index-j.html
掲載日	平成 30 年 5 月 15 日

以 上